

県立高等学校教育推進実施計画(第1期)の概要

項目	基本計画(平成27年3月)	第1期実施計画(平成28年2月)
グローバル社会で活躍できる人材の育成	<b>海外の文化や言語を学べるコースの設置</b> わが国と関わりの深い近隣アジア諸国などの文化や言語を学べるコースを設置します。	◎ 国際教養科や国際理解コースを全県にバランスよく設置することを検討 〈国際教養科新設〉 刈谷北高校(国際理解コースを改編) 〈国際理解コース新設〉 中村高校、一宮西高校、安城東高校
	<b>海外交流の促進</b> 高校生の海外派遣や留学支援の事業を一層推進するとともに、海外の高校生を積極的に受け入れ、海外の文化に接する機会を広げます。	◎ 高校生の留学支援の拡充と近隣アジア地域からの高校生訪日団の積極的な受入を目指す ◎ 工業科・商業科で開始した海外インターンシップを、他の専門学科や総合学科にも拡大することを目指す
	<b>国際ボランティア養成を通じたグローバル人材の育成</b> 東京オリンピック・パラリンピックやフットサル世界大会の開催に向け、高校生を将来の国際大会ボランティアに養成します。	◎ 平成29年度から3年間、「国際ボランティア養成講座」の開設を検討
	<b>外国人の学びの場の整備</b> 外国人生徒等を対象とした入学者選抜の実施校の拡大と教育支援員の配置拡充に努めます。	◎ 外国人生徒等選抜の実施校を現行の4校から9校に拡大 ◎ 外国人生徒教育支援員の配置の一層の拡充

項目	基本計画(平成27年3月)	第1期実施計画(平成28年2月)
キャリア教育と職業教育の一層の充実	<b>キャリア教育コーディネーターの配置</b> インターンシップ、社会人講師の招へい、ボランティア活動などの学校の活動を円滑に実施するため、キャリア教育コーディネーターの配置を検討します。	◎ インターンシップやボランティア活動の受け入れ先の開拓や、社会人講師の活用を推進するキャリア教育コーディネーターを地域ごとに配置し、各学校のキャリア教育を支援
	<b>ニーズを踏まえた学科改編等</b> 各職業学科において、時代のニーズを踏まえた魅力的な学科への改編を進めます。	◎ 産業構造の変化や科学技術の進展等に伴う社会のニーズの変化を踏まえ、各職業学科において学科改編等の実施を検討 【主な学科改編等】 <b>工業科</b> [平成29年度以降] ★小牧工業高校：機械科の一部 →航空産業科 (航空・宇宙産業を担う技術・技能者の育成) ★名南工業高校：情報技術科 →資源エネルギー工学科 (環境・資源・エネルギー問題に対応できる技術・技能者の育成) <b>商業科</b> [平成30年度、31年度] ★総合学科への改編 緑丘商業高校(平成30年度)、知立高校(平成31年度) [平成32年度以降] ★高度な専門性を身に付けたり、地域の特色やニーズに対応するなど、各商業高校の特色化を進めるとともに、「商業高校」の名称についても検討
	<b>実習用施設・設備の充実</b> 産業教育施設・設備の計画的な整備を図ります。	◎ 産業教育設備の基本方針を策定し、実習用設備の計画的な整備を目指す

項目	基本計画（平成27年3月）	第1期実施計画（平成28年2月）
魅力ある高等学校教育の基盤づくり	<b>ICT機器などの教育環境の整備</b>	
	<p>情報活用能力やプレゼンテーション能力を育むため、<u>授業で活用するICT設備の充実を図ります。</u></p>	<p>◎ 無線LANやタブレット端末などのICT教育環境の整備を目指す</p>
	<p>施設の改修等に併せて、現在は総合学科のみに整備されている<u>プレゼンテーションルームを各校に整備します。</u></p>	<p>◎ プレゼンテーションルームをすべての高等学校に整備することを目指し、施設の改修等に併せて順次整備</p>
	<b>老朽化対策の計画づくり</b>	
	<p><u>全庁的な計画や国の動向を踏まえつつ、建物の長寿命化を含めた老朽化対策の計画を早期に作成していきます。</u></p>	<p>◎ 「県立学校施設の長寿命化計画」を策定し、老朽化対策に取り組む</p>
		<p>★ 計画の策定期限は平成32年度までとなっているが、できるだけ早期の策定に努めるとともに、一刻も早い改修が必要となっている建物については、計画の策定を待つことなく改修を実施することを検討</p> <p>★ 計画の策定に当たっては、老朽化対策のほか、学習環境の質的向上にも配慮し、アクティブ・ラーニングへの対応やトイレの洋式化など、県立高等学校施設に求められる機能、性能の確保を図るとともに、魅力ある高等学校づくりを推進するための施設の整備を目指す</p>

項目	基本計画（平成27年3月）	第1期実施計画（平成28年2月）
生徒のニーズを踏まえた様々なタイプの高等学校の配置	<b>総合学科の新たな設置</b>	
	<p><u>既存の総合学科への通学が容易でない地域を中心に、新たな総合学科の設置を進めます。</u></p>	<p>◎ 〈総合学科への改編の検討〉（再掲） 平成30年度 緑丘商業高校（商業科）〔名古屋市守山区〕 平成31年度 知立高校（普通科・商業科）〔知立市〕</p>
		<p>◎ 平成31年度以降にさらに3地域程度での設置を目指す</p>
	<b>普通科コースの新設</b>	
	<p>時代の変化や生徒・保護者、地域のニーズを踏まえ、<u>必要に応じて既設コースの改廃や新たなコースの設置</u>を検討します。また、コース設置校が、それぞれの地域において、特色ある教育活動とその成果、取得できる資格、卒業後の進路などについて発信する場を設けます。</p>	<p>◎ 「情報活用コース」については、一部の学校で廃止（犬山高校、幸田高校）もしくは、資格取得を目指して積極的に職業科目を取り入れた「<u>情報ビジネスコース</u>」に改編（守山高校、尾西高校、東浦高校、衣台高校、一色高校）</p> <p>◎ 教員に求められる資質を身に付けた人材を育成する「<u>教育コース</u>」新設の検討（半田東高校、豊橋南高校）</p> <p>◎ 医療・看護系の上級学校と連携した実践的、体験的な学習や「心」の教育を行う「<u>医療・看護コース</u>」新設の検討（長久手高校、豊田高校）</p> <p>◎ 保育士に求められる人間性、社会性等の資質を育成する「<u>子ども発達コース</u>」新設の検討（武豊高校）</p> <p>◎ 「<u>美術コース</u>」（東郷高校）、「<u>スポーツコース</u>」（豊橋西高校）、「<u>創造表現コース</u>」（名古屋西高校）新設の検討</p> <p>◎ 観光産業全般で活躍できる人材を育成する「<u>観光ビジネスコース</u>」新設の検討（福江高校）</p>

項目	基本計画（平成27年3月）	第1期実施計画（平成28年2月）
生徒のニーズを踏まえた様々なタイプの高等学校の配置	<p><b>昼間定時制や全日制の単位制高校の設置</b></p> <p>特別な事情をもつ生徒の学習ニーズに          応えていくため、全県の県立高等学校の          配置を考える中で、<u>興味・関心に応じて          科目を選択し、自分のペースに合わせて          学習できる昼間定時制や全日制の単位制          高校の設置を検討します。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ステップアップハイスクール(二部制              単位制の定時制高校)の設置(愛知工              業高校校地に平成29年度開校)</li> <li>◎ 御津高校に昼間定時制課程併設の              検討</li> <li>◎ 地域のバランスを考慮し、3校程度を              全日制単位制高校に改編することを検              討</li> </ul>
生徒が減少する地域における対応	<p><b>東三河地区の魅力ある教育内容をもつ          学校への改編と学校の統合</b></p> <p><u>魅力ある教育内容をもつ学校への改編          等を進めるとともに、既存の連携型中高一          貫教育における交流活動の一層の充実を          図ります。また、各学校の学級数の縮減を          図りつつ、山間地域等の教育に配慮するな          ど地域の実情を踏まえて、校舎(分校)化          や統合も含め、将来的な学校配置の構想を          検討します。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 魅力ある学科・コース等設置の検討              (教育コース、観光ビジネスコースなど)</li> <li>◎ 福江高校と地域の中学校間で連携型              中高一貫教育実施の検討</li> <li>◎ 新城東高校(普通科)と新城高校(農              業科、商業科、家庭科)の2校を統合</li> </ul>

